大空 (生徒·保護者向け) 14号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年7月31日(金)

プリコラージュとしてのNIE(附属中学校1学期終業式講話)

口本日の概要

- ○レヴィ・ストロースは、未開人が、将来何の役に 立つのか分からないが役に立ちそうだというもの を集めて新しいものを作り出すことをプリコラー ジュと名付け、無関係のようなものを独自の視点 で結びつけることを「野生の思考」と名付けた。
- ○将来役に立つかもしれないものを見極める力が「感性」であり、それを身につけるには本物との出会いが必要である。
- ○本物は身近な所にある。例えば、新聞記事の収集 もプリコラージュになる。この夏は、自分のプリ コラージュを増やしてほしい。

口附属中学校の皆さんへ

中学1年生の皆さんとは入学式で会ったとき以来、2年生、3年生の皆さんの前で話すのは、何と初めてです。同じ学校にいながら遠い存在ですね。授業中、時折廊下を歩いている私が校長です。長々しい通信を書いて配っていますが、皆さん読んでいますか。中学生の皆さんはピンとこない内容かもしれまんせんが、附属中の皆さんになら通じるはずと信じて、敢えて中学生向きの表現はせずに書いています。

□入学式で語ったこと

私は入学式で4つのお話をしました。これは2・3年生にも共通することですので、少し振り返ります。

- ○新しい仲間との出会いを大切にし、未来への夢を ふくらませよう。
- ○まず感性を磨こう。感性を磨くには、本物の芸術 (Art)に触れなければならない。
- ○さらに芸術だけでなく、自然科学、社会科学、人 文科学分野を含む「Liberal Arts」つまり「教養」 を身につけて欲しい。
- ○富士山のような広い教養の裾野を身につけ、若竹 のようにぐんぐん伸びて欲しい。

今日は、その中で、「Art」、すなわち教養について、再度触れたいと思います。

ロプリコラージュを選び取る感性

フランスに文化人類学者のクロード・レヴィ・ス トロース(1908~2009)という人がいました。文化 人類学という学問は、「人間の生活様式全体(生活や 活動)のありかたを研究する人類学の一分野」(Wiki pedia) ですが、もともとは欧米で始まった学問で、 欧米人が遠い外国の奥地の、いわゆる未開と思われ ていた民族を観察するところから始まった学問です。 欧米の学者が驚いたのは、未開と思われていた民族 にも、社会システムを維持するための文化を持って いたことです。レヴィ・ストロースは、未開の民族 が、今、それが何の役に立つのか分からないが、将 来、何かに使えそうだというものを集めて、新しい ものを作りだし、実生活に対応していることに着目 し、それを「プリコラージュ」と名付けました。(「プ リコラージュ」はフランス語で「寄せ集め」の意味) そして、まったく無関係のように見えるプリコラー ジュ同士を独自な視点により大胆につなげることを、 西洋人が重視してきた理性的思考や科学的思考と対 比するものとして「野生の思考」と呼んだのです。 画期的な発明やイノベーションは、この「野生の思 考」のような飛躍的な発想がないと生まれませんが、 何が「ゴミ」で、何がプリコラージュであるかを見 分ける力が、「感性」なのです。

入学式では、感性を磨くために、様々な「本物」に触れて欲しいと話しました。本来ですと、夏休みはこの「本物」に触れるチャンスです。平常時なら、様々な体験を積んで欲しいと言うところですが、今は新型コロナウイルスの危険があり、安全面を考えるなら、宮崎県外に出ることや不要な外出は勧められません。でも、夏休みに何もできない、つまらないと嘆かないでください。「本物」は、何も旅行などで、よそに行かなければ触れられないものではないのです。今はインターネット等で多くの情報が手に入ります。読書でもいい、芸術でもいい、研究でも

いい、身近でできることはたくさんあります。様々なことにチャレンジして、自分のプリコラージュを増やしてください。

ロプリコラージュとしてのNIE

最も手軽にできるプリコラージュとして、皆さんが取り組んでいるNIE(Newspaper in education)があります。新聞スクラップは、もう何十年前からある古典的勉強法ですが、これは今でも変わっていません。新聞をきちんと読み、疑問に思い、自分の考えをまとめるだけで、飛躍的に力がつきます。

私は平成4年度から平成11年度の8年間、この 宮崎西高校に勤務した時、実はNIEを担当してい ました。私は、国語を教えているクラスの生徒に新 聞スクラップノートをつくらせました。毎週1回提 出させており、夏休みもその延長としてNIEに取 り組ませました。すると、当時理数科の高校1年生 だった松田さんは、自分で「命の大切さ」というテ ーマを決め、一夏、ノート一冊の新聞記事を収集し、 毎日、自分の意見を書き続けたのです。彼女が「命」 をテーマに選んだのは、そのころ起きた神戸児童殺 傷事件から、「若者の間で人間の命が軽く見られるよ うになってきたのではないか」という疑問、つまり 自分の「問い」を立て、その疑問を解決する手段と して、新聞記事を使ったのです。私は、宿題で提出 されたノートの中から、何人か優秀な作品を選び、 当時開催されていた「新聞スクラップコンクール」 に応募しました。すると、彼女は1700人を超え る応募作品の中から、審査員特別賞を受賞したので す。最初から審査員特別賞という賞が準備されてい たのではありません。松田さんの取り組みに感動し た審査員の方々が、松田さんのためにわざわざ賞を 設けてくれたのです。自分の「問い」に向き合おう という彼女の姿勢が、審査員の心を動かしたのだと 思います。高校1年生の時から、真剣に「命」の意 味に向き合ってきた彼女は、医学部に進学しました。 きっといいお医者さんになっていることでしょう。

このように、新聞という昔ながらの身近なものを 利用しても、考察を深めることができるのです。新聞を広げたとき、ふとある記事が目にとまる、それ が君のプリコラージュです。なぜ、自分がこの記事 に関心を持ったのか分からない。しかし、なぜか気 になる。それを深めていったら、あなたの未来が広 がるかもしれません。

幸いなことに、附属中の皆さんは、宮崎県のNIEの第一人者である木幡先生の授業を受け、新聞を素材に様々な学習に取り組んでいます。いろいろと

先生に質問をして、自分なりのプリコラージュを広 げてみてください。

図2 宮崎西高1年の松田さん

を変わってきた」 | 高崎市大塚町の高崎西高でも変わってきた」 | 高崎市大塚町の高崎西南で自分の意見を通っていることなってまた」 | 高崎市大塚町の高崎西南で

は 自分で決めたテーマに沿って新聞を切り抜
 す。主張や感想も加えく画像する作業を通じ
 て、新観の面目さや大切さる実態してもらう第
 で、新聞の面目さや大切さる実態してもらう第
 で回し、卵白・新聞イスラップコンタール」(全
 しの場合を表現性対策を受けた。千七日人を大力さ上が審査員技術質を受けた。千七日人を大力さ上が審査員技術等を受けた。千七日人を大力さ上が審査員が開発を小学、高校生から寄せられた作品
 およる小学、中学、高校生から寄せられた作品
 があったり表述けれた。

神戸·連続児童「少年の心理に興味」

記

事

80

本を

人 むようになった。

田田 現在、ファット版は三

田田 現在、ファット版は三

ことがある。「これまで角」となく酸性人の支対なか快場」となく酸性人の支対なから、
のけど、現物を持ってしったととが大きいです

な17・11・27 動日

理味をひかれた。医療や科 神戸市の雑児(強化) をようになってきたのでは ないか」と述った記字にう。 ロックを受け、夏休かの課 切して取り組んだ。「単 中を起こした少年の心理に 件を起こした少年の心理に

→ か、と考えると……」。命 相 た、という。 か、と考えると……」。命 相 について呼べく考えさせら れ た、という。 と新聞は続まなかった」 サ スクラップを選に一回提出 サ スクラップを選に一回提出

だ。外見は同じでも中身は 連うはずだし、『つくり出 連うはずたし、『つくり出 を賛成できない。高齢化 の問題も、例えば自分の親 が年をとったらどうなる かく者えると……」。命

松田さんの入賞を伝える記事

朝日新聞 1917年 7日 24日



手件の関係者に対する取門のしかれたのいては、ですでのでのだけがあった。しかし、厚られた情点取り返くのつかがいことにである。 連補でれた中等の報等真言編載した状況をいてのマフラでは頼がれた中等の報等真言編載したがでのマフコミは「標準を送りまするになる」を明確なませ、いたのだと知、てそ心(た。

しかし、一般の人たちの間で、 17 全くほじらのがいようけいも 起よっていたらしい。

形造した近信 投資で、かくりても情報の 独立の氏のにのかけずで、それがのに、電話番号の一覧裏をインターネットに掲載するかで、明らかにから七電話を開している。 蝶から七電話をできませますることがらい 予めてでたけずずある。

その他にも、少年の名前・信所 でいる 特定(イナカマの事件で 素しんでいるとしか高いようのが いこととでおよっていたりしょ。

で特定の数の人々と情報を そりとりする時に、超人に与える 影響を考えてほしい。 いつの間 いか 自分の個人的 がくとか 見 すからずかんたちに如れ及しい る ソスト、考えただけできる気 外下の 医急性がある 使用名の というというためとは、まのうち 選者と 棚に 塩イノタウム エロゼル

松田さんのスクラップノート 毎日、自分の考え がびっしり書かれている。